

## 平成30年度第1回南部地域保健医療・地域医療構想協議会 議事概要

- 1 日 時 平成30年8月24日(金) 13時30分から15時00分
- 2 場 所 南部保健所 2階大会議室
- 3 出席者
  - ・ 委員(別添のとおり)  
委員総数27名(出席22名 欠席5名)
  - ・ 事務局  
保健医療政策課、医療整備課、南部保健所
  - ・ 説明者  
蕨市立病院職員、済生会川口総合病院職員、戸田中央総合病院職員、  
齋藤記念病院職員
  - ・ 傍聴者  
傍聴総数18名(特別傍聴13名 一般傍聴5名)
- 4 会長及び副会長の選出
  - ・ 委員の互選により、川口市医師会の鹿嶋委員が会長に、蕨戸田市医師会の金子委員が副会長に選任された。
- 5 議事内容
  - (1) 病床機能報告データ等を用いた医療提供体制の分析について  
資料1-1により、保健医療政策課が説明。  
【主な質疑等】
    - ・ 私は回復期病棟の患者を多く診ているが、報告の内容と現場の感覚とで、かなり乖離していると感じる。回復期病棟は、常に患者でいっぱい入っているわけではない。2025年に向けて、県としてはどのような対応をするのか。  
協議会で今後の病床整備や、圏域のバランスを検討していただきたい。先ほど説明があった資料1-1は、その参考データとして提供しているものである。このデータに皆さんの現場感覚を加えていただいて、圏域の方針を決定していただきたい。
    - ・ 9ページの数値を見ると、客観分析の数値とH28病床機能報告の数値がかなり剥離しているのは、病院が報告した病床機能報告の数値が適正ではない可能性があるということか。  
病床機能報告が適正ではなく、客観分析のみが正しいとは考えていない。あくまで、当該分析は目安として算出しているので参考としていただきたい。

当該分析は6月のレセプトデータを基に作成したもので、1年を通じて分析したものではない。その事からも、これが全て正しい、といったものではない。

- ・ 2025年の必要病床数(地域医療構想)は、一人(病床)単位で数字を出している一方、当該分析は病棟単位で行われている。一人(病床)単位でデータ分析ができないのか。

一人(病床)単位で分析することができればより良いと思うが、病床機能報告では、病棟単位での報告となっており、分析に限界がある。一人(病床)単位であれば、レセプトデータを集計した国のナショナルデータベースを分析しないと不可能ではないか。そのデータを第三者が利用するのは困難である。

- ・ もし利用できるのであれば、是非やっていただきたい。  
そのデータ分析には極めて高いスキルが必要になり、国内でも分析できる人物は限られる。
- ・ 先ほど、当該分析は6月データを使用しているとあったが、回復期病棟は冬が繁忙期で、6月は閑散期にあっている。そのことから、6月実績を基にした分析は妥当なのか。

病床機能報告は、国から6月分の診療実績データが各病院に送られ、病院はそれを基に7月1日現在で作成をする仕組みになっているため、通年の分析は難しいと考えている。分析には一定の限界があるので、そういった季節的な要因も踏まえ参考としていただければと思う。

- ・ 圏域を跨ぐ患者の流入・流出については、この分析ではどのように考えるのか。

流入・流出については、平成25年の割合が2025年も同じ割合であると仮定し、推計をしている。今回のデータ分析ではどの程度の割合が流入・流出しているのかは、情報が無いため不明である。

- ・ 先ほどのデータ活用の件で、国保連等からデータを入手すれば一人(病床)単位の分析が可能ではないか。

各保険者の同意を得た上で、データを収集することは技術的には可能である。ナショナルデータベースでは一元的にデータ収集をしているが、それを活用して分析を行っているのは、大学病院や研究機関といったところである。現状として、県単独で行うことは技術的に難しい。

- ・ 技術的に難しいことは理解したが、地域限定で分析すればある程度可能ではないかと考える。今後検討してほしい。

## (2) 新公立病院改革プランについて

資料1-2、1-3により、保健医療政策課が発表の趣旨を説明。

その後、資料2により蕨市立病院が説明。

### 【主な質疑等】

なし

- ( 3 ) 公的医療機関等 2 0 2 5 プランについて  
資料 3 により済生会川口総合病院が説明。

【主な質疑等】

- ・ 済生会川口総合病院は、受け入れを断られた高度急性期の患者を受け入れなくてはならない病院かと思う。そういった状況で、当該病院の医師等が疲弊しないように、周りの病院も連携しなくてはならないと考えている。一方、当該病院の患者は、他病院に移りたくないといった方が多い。行政は、そのような現状を広く周知していただければと思う。

- ( 4 ) 病院状況報告について  
南部保健所が発表の趣旨を説明。  
資料 4 - 1、資料 4 - 2 により各病院が説明。

【主な質疑等】

- ・ 今回の発表は、資料 1 - 2 の「地域医療構想調整会議での個別の医療機関の取組状況の共有」といった趣旨かと思うが、今後はこの協議会で圏域内全ての医療機関の状況が共有されると考えてよいか。  
できれば全ての医療機関に状況を説明していただき、この協議会で情報共有をし、協議していただければと考えている。

- ( 5 ) 埼玉県病床機能転換促進事業について  
資料 5 により医療整備課が説明。

【主な質疑等】

なし

- ( 6 ) 病院整備計画の公募について  
資料 6 により医療整備課が説明。

【主な質疑等】

なし